

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育相談支援 Support for Child Care Consultation		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	梅田 美穂	
概要				
<p>保育現場や地域における相談支援の理論や意義、方法とその具体的展開について解説する。相談支援において必要な方法や技術を理解し、保育者が行う子育てにおける援助役割への理解を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) 相談支援の意義を説明することができる。 (2) 相談支援を行うときに必要な方法を具体的に述べることができる。 (3) 保育者が抱える課題について主位的に考え、協議することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション(授業内容及び進め方・基本的な心構え) 2 保育相談支援の意義 3 保育士の専門性を生かした相談支援 4 子どもの成長の共有 5 保育者支援の内容 6 保育者が行う相談支援 7 保護者の養育力の向上に資する支援 8 相談支援の実際 ①保護者に対する指導 9 相談支援の実際 ②保護者支援の内容 10 地域における保育所の役割 11 社会資源の活用と関係機関との連携 12 支援の計画・記録の方法 13 支援の評価・カンファレンス 14 特別な支援を要する家庭への支援 15 児童福祉施設における相談支援の実際 				
テキストおよび 参考文献	その都度提示			
メッセージ な	<p>現代では保育や子ども・子育てにかかわる施設が地域の子育て支援の中心を担い、保育者が子育て等の相談支援を行うことも増えています。「子どもをともに育む」ということはどのようなことか一緒に考えてみませんか。 保育士証：必修科目</p>			

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 相談支援の意義を説明することができる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できない。	レポート（知識・思考力・表現力）	40%
(2) 相談支援を行うときに必要な方法を具体的に述べることができる。	ほぼ完璧に述べられる。	大きな間違いがなく、述べられる。	間違いはいくつかあるが、述べられる。	述べていない。	講義中の発表・感想レポート（知識・思考力・表現力）	30%
(3) 保育者が抱える課題について主位的に考え、協議することができる。	自分の考えをしっかりと持ち、積極的に協議している。	考えに大きな間違いがなく、協議している。	考えに間違いがいくつかあるが、協議している。	考えようとせず、協議していない。		30%